2026年 11月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ピ ア ズ
代 表 者 名 代表取締役社長 桑野 隆司
（コード番号：7066 東証グロース）
問 合 せ 先 取締役管理部部長 栗田 智代
（ TEL. 03-6811-2211）

通期業績予想と実績値との差異・個別業績の前期実績との差異及び剰余金の配当に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2026年５月14日に公表した2026年９月期通期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたことについて、下記のとおりお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当について、下記の内容を2026年12月25日開催予定の第25期定時株主総会に付議することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

１．2026年９月期通期連結業績予想値と実績値との差異（2025年10月１日～2026年９月30日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	7,800	700	445	425	270	29.68
実績値（B）	7,416	796	492	558	274	30.33
増減額（B－A）	△383	96	47	133	4	
増減率（%）	△4.9	13.7	10.6	31.4	1.7	
（ご参考）前期実績（2025年９月期）	6,103	767	559	497	432	47.08

２．差異の理由

売上高につきましては、第４四半期において、中長期的な収益性向上を見据え、高採算案件の獲得を優先して受注案件の選別を行ったことにより、前回発表予想を下回りました。

一方、営業利益につきましては、高採算案件へのシフトやグループ全体でのコスト管理の徹底により、前回発表予想を上回りました。EBITDAにつきましても、営業利益の上振れ等により、前回発表予想を上回りました。

経常利益につきましては、営業利益の上振れに加え、CVC投資案件において投資有価証券の売却益等を営業外収益に計上したことなどにより、前回発表予想を上回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、経常利益が前回発表予想を上回った一方、投資有価証券評価損59百万円を含む特別損失などを計上した結果、概ね予想通りの着地となりました。

３．2026年９月期通期個別業績と前期実績値との差異（2025年10月１日～2026年９月30日）

	売上高	EBITDA	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前期実績値（A） （2025年９月期）	百万円 5,378	百万円 510	百万円 317	百万円 569	百万円 508	円 銭 55.38
実績値（B）	6,404	453	260	382	218	24.19
増減額（B－A）	1,025	△56	△57	△187	△289	
増減率（%）	19.1	△11.0	△18.0	△32.8	△57.0	

４．差異の理由

売上高につきましては、主にNTTグループ各社向け案件の獲得が好調に推移したことに加え、M&Aにより譲り受けたSES事業の寄与により、前期実績を上回りました。

営業利益につきましては、セールスプロモーション領域における高採算案件の獲得や人材派遣領域の利益率改善に取り組んだものの、相対的に利益率の低い人材派遣領域の売上高に占める構成比が上昇したことに加え、人件費が増加したことなどにより、前期実績を下回る結果となりました。EBITDAにつきましても、営業利益の減少等により前期実績を下回りました。

経常利益につきましては、営業利益の減少を投資有価証券の売却益等で相殺したものの、前期に計上した一時的な貸倒引当金戻入益の反動などにより、前期実績を下回る結果となりました。

当期純利益につきましては、投資有価証券評価損59百万円を含む特別損失を計上したことに加え、繰越欠損金の解消に伴い法人税等が増加したことにより、前期実績を下回る結果となりました。

５．剰余金の配当

（１）配当の内容

	決　　定　　額	直近の配当予想 (2026年９月２日公表)	前期実績 (2025年９月期)
基　準　日	2026年９月30日	同左	2025年９月30日
１株当たり配当金	17円00銭 （普通配当　17円00銭）	同左	16円00銭 （普通配当　13円50銭） （記念配当　２円50銭）
配当金総額	153,075千円	－	144,362千円
効力発生日	2026年12月28日	－	2025年12月26日
配当原資	利益剰余金	－	利益剰余金

（２）理由

当社グループは、財務体質の強化及び競争力の向上を重要な経営課題と位置づけ、事業の効率化と事業拡大に向けた積極的な投資を通じて、持続的な企業成長を目指しております。また、配当による株主への利益還元も重要な経営課題と認識しております。

この方針に従い、事業投資と株主還元のバランスを総合的に考慮し、健全な配当性向を視野にいれつつ、１株当たり配当金の維持・増配を目指す累進配当を基本方針としております。各事業年度の経営成績及び財務状況等を勘案しながら、安定的かつ持続的な配当を行い、中長期的な株主還元の充実に努めてまいります。

当期の期末配当につきましては、上記方針に基づき、当期の業績及び財務状況等を総合的に勘案した結果、１株当たり17円00銭とすることといたしました。これにより、前期の年間配当金16円00銭に対して１円00銭の増配となり、普通配当ベースでは、前期の13円50銭に対して３円50銭の増配となる予定です。

以　上